

フロイント産業株式会社
株主通信

2019年2月期 **通期**
 (2018年3月1日～2019年2月28日)



株主の皆様へ

第7次中期経営計画(2018年2月期～2022年2月期、以下「当中計」)のもと、引き続き「成長基盤の構築」に取り組んだ2019年2月期(以下「当期」)。ここに、事業活動の概要と今後の注力施策についてご報告します。

代表取締役社長 **伏島 巖**

当期の事業活動レビュー

機械部門

医薬品分野：国内では、ジェネリック医薬品(GE)比率が73%に達し、2020年9月を待たずに、政府目標の80%に到達すると言われています。当期は、機械装置需要が前期以上に鈍化した結果、受注が大幅に減少しました。また、新製品の連続造粒装置の納入時期がずれたことや、戦略製品の錠剤印刷機の改良対応による機会損失の発生などがあり、GE特需への反動の影響を吸収することができませんでした。

海外では、南米ブラジルにおいて大型受注があったものの、それ以外の地域は低調な展開となりました。

非医薬品分野：米中貿易摩擦の影響などにより、中国、東アジアを中心に引き合いが強かったリチウムイオン電池関連事業に不透明感が高まる中で、積極的な営業展開により増収を確保しましたが、製品開発に係る先行投資負担の増加などが利益の圧迫要因となりました。

化成品部門

医薬品分野：医薬品添加剤事業では、自社生産による主力製品「ノンパレル」の国内での大幅な需要増加に加え、インドを含めたアジア地域での積極的な営業活動が業績を押し上げました。

非医薬品分野：食品品質保持剤は、国内及び海外で積極的な拡販に向けた営業を展開いたしました。

第7次中期経営計画に基づく取り組み

当中計3期目となる2020年2月期は、当期の減収要因への対応を含めた既存施策の推進に努める一方、新規事業の創出と既存事業の強化の両面で、メリハリのある事業展開に注力し、後半の飛躍期に向けて、以下を含めた事業投資を着実に進めてまいります。

機械部門：グローバル事業基盤の拡充

医薬品分野において、グローバルネットワークの拡充を図ります。従来、開発・製造・営業/ラボを網羅する拠点は、フロイント産業(浜松)と米国FREUND-VECTOR社(アイオワ州マリオン)のみでしたが、現在、グローバルな医薬品生産の中心となりつつあるインドに当社グループ初の試みとなる合弁会社の設立準備をしております。また、米国東海岸や中南米においても、ラボ開設を検討しており、同地域での営業力強化を図ってまいります。

化成品部門：医薬品添加剤事業の基盤強化

国内では、自社生産製品の生産体制強化を図っています。加えて、当社初の本格的オープンイノベーションプロジェクトである直打用賦形剤「SmartEx®」が本格的な立ち上げ局面にあり、増産のための設備投資の検討などが始まっています。

海外では、韓国、中国、インドに販売代理店を展開していますが、戦略拠点として中国、インド、米国を位置づけ、事業基盤強化を図ってまいります。

当社のインクジェット式次世代錠剤印刷技術が 「第18回 製剤機械技術学会 仲井賞」を受賞しました

2018年10月、錠剤印刷装置(外観検査機能搭載型)「TABREX Rev.(タブレットス・レボ)」に搭載されたインクジェット式次世代錠剤印刷技術が、「第18回 製剤機械技術学会 仲井賞」を受賞しました。同賞は、製剤機械技術の進歩と発展に貢献した個人やグループの功績を顕彰するものです。

ジェネリック医薬品の普及による薬剤の品種の増加や高齢化社会における一包化ニーズの高まりなどにより、調剤過誤のリスクが高まっています。「TABREX Rev.」は、「世の中のすべての錠剤」に印刷することを目指し、開発を進めてきました。

今回の受賞のポイントとして、錠剤搬送技術を従来のベルト搬送方式からディスク搬送方式へと変更し、印刷が適用できる錠剤の汎用性を高めることに成功した点が挙げられています。さらに、「新規技術に挑戦しつつ、低コスト化なども

考慮した設計がなされている点は、社会貢献の観点からも評価に値する」とのお言葉も頂戴しました。

当社は今後とも、錠剤識別性を大幅に向上させることで誤飲防止や調剤過誤の削減に貢献するとともに、社会に貢献できる技術の提供・育成を目指してまいります。



左端が製剤機械技術学会の草井会長、右端が実行委員長で大阪府立大学大学院の綿野教授

本格的なオープンイノベーションを通じ、 直打用医薬品賦形剤「SmartEx®」の 事業化を推進しています

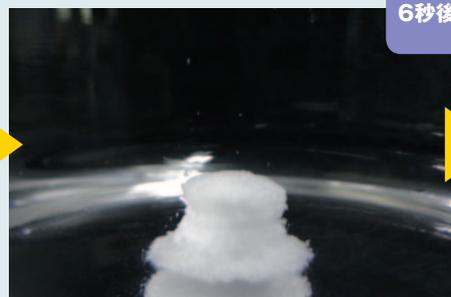
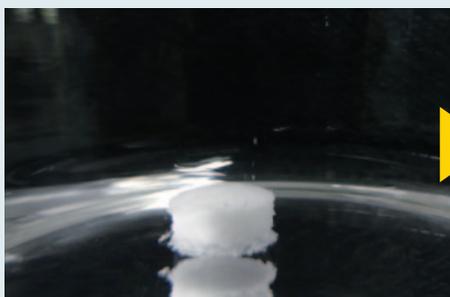
「信越化学工業の持つ機能性素材とフロイント産業の造粒技術を組み合わせることができれば、画期的な賦形剤ができそう」。ある学会のシンポジウムでの両社の技術者同士の立ち話がきっかけとなり、口腔内崩壊錠(OD錠)向け直打用賦形剤「SmartEx®」の共同開発が始まりました。このプロジェクトは、当社が製造を、信越化学工業(株)が販売を担う、新たな協業モデルとなりました。

「SmartEx®」は、複数の化合物を特殊な加工技術によって複合化するコプロセス添加剤*で、成形性・崩壊性・流動性

に優れ、高い保存安定性が特長です。発売から5年が経過し、2018年の販売量は約10トンとなりました。現在、採用していただける製薬会社が着実に増え、さらに承認申請中や申請予定といった引き合いも強くなっています。そのため、製造については、グローバルな視点に基づくGMP(医薬品の製造管理及び品質管理に関する基準)のもと、本格的な増産体制を準備する局面に入っております。

※単純な物理的混合では実現できない、かつ重大な化学変化をさせないように、その性質を物理的に改編するように設計された複数の添加剤の組み合わせ品

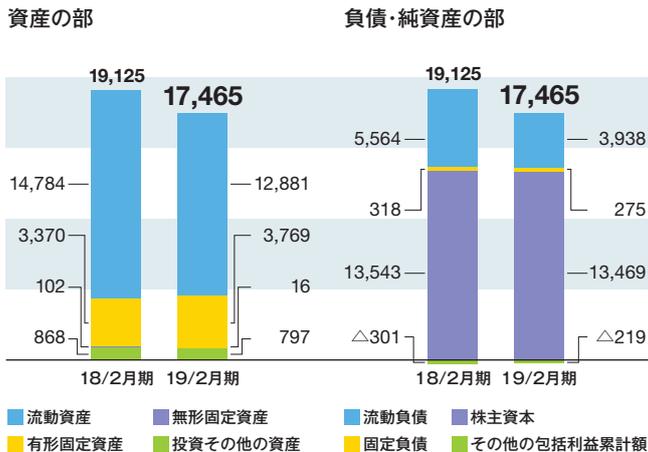
SmartEx®を使った薬剤の崩壊の様子



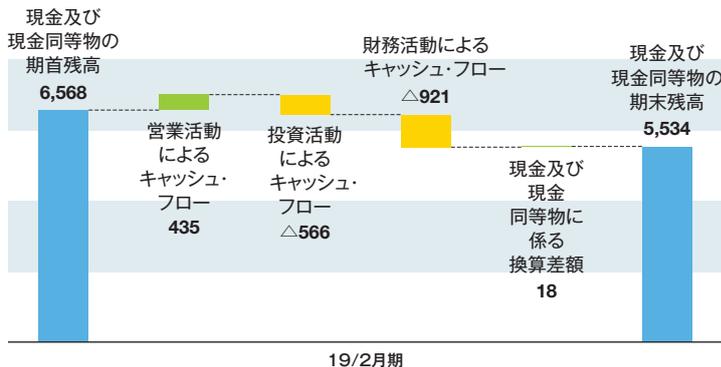
FINANCIAL INFORMATION

財務情報

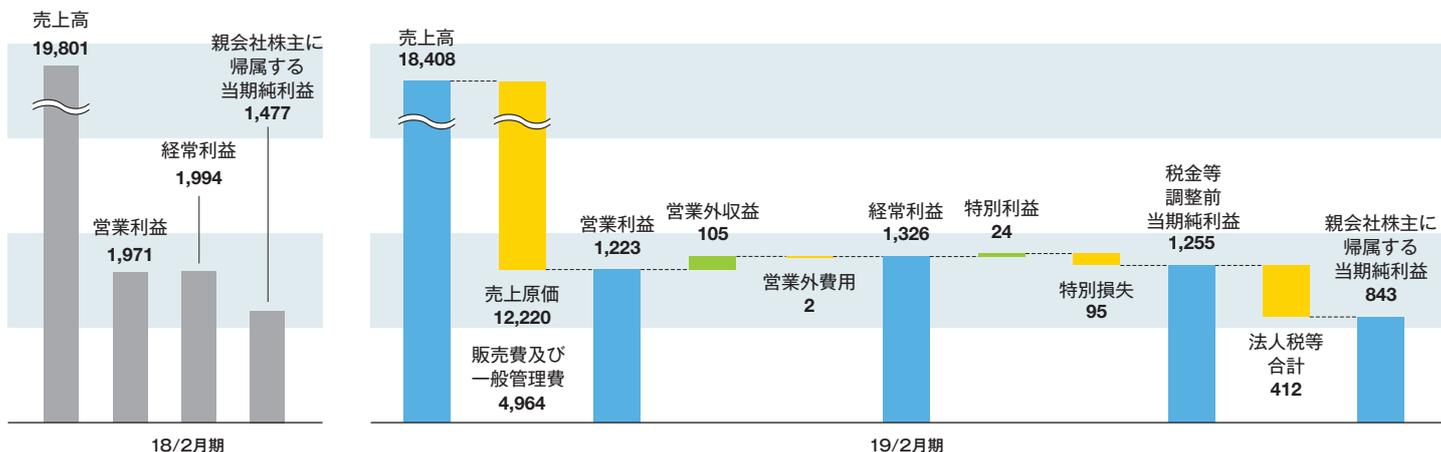
連結貸借対照表 (百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書 (百万円)



連結損益計算書 (百万円)



REVIEW OF OPERATIONS

事業概況

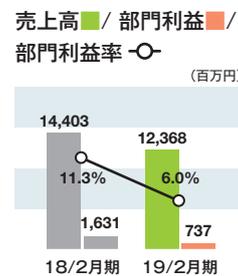
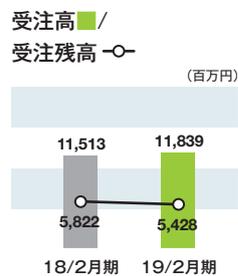
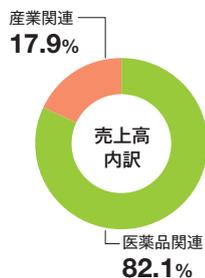


医薬品、食品、ファインケミカルなどの様々な分野向けに、造粒、コーティング装置などを製造・販売

グループ会社

フロイント産業株式会社
フロイント・ターボ株式会社
FREUND-VECTOR CORPORATION

機械部門

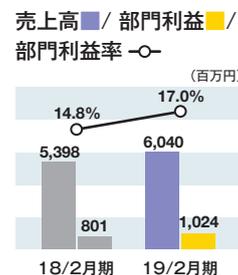
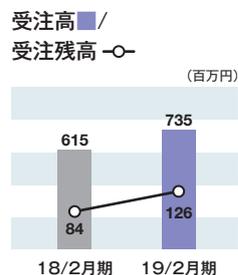
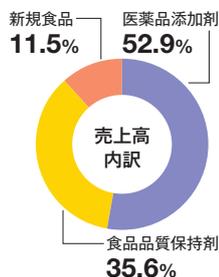


医薬品添加剤、食品品質保持剤、栄養補助食品などを製造・販売

グループ会社

フロイント産業株式会社

化成品部門



会社概要

商号	フロイント産業株式会社
英文商号	Freund Corporation
設立	1964年4月22日
資本金	10億3,560万円
事業の概要	医薬品、食品、化学等の業界向け造粒・コーティング装置及びプラントエンジニアリングと医薬品添加剤、食品品質保持剤、栄養補助食品等の開発・製造販売
従業員数	372名(連結)

本社所在地	東京都新宿区西新宿6丁目25-13 フロイントビル
ホームページ	http://www.freund.co.jp
関連会社	【日本】 フロイント・ターボ株式会社 粉粒体機械装置の研究開発、設計及び製造・販売 【アメリカ】 FREUND-VECTOR CORPORATION 粉粒体機械装置の製造・販売

名誉会長	
名誉会長	伏島 靖豊
役員	
代表取締役社長	伏島 巖
常務取締役	白鳥 則生
取締役	武井 成通
社外取締役	真鍋 朝彦
社外取締役	中竹 竜二
社外取締役	今田 修
常勤監査役	小林 正
社外監査役	佐藤 光昭
社外監査役	菅原 正則
社外監査役	泉本 小夜子

STOCK INFORMATION

株式情報 (2019年2月28日現在)

株式の状況

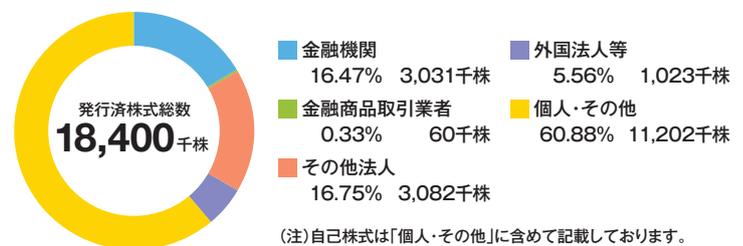
発行可能株式総数	60,000,000株
発行済株式総数	18,400,000株
株主総数	13,769名

大株主の状況

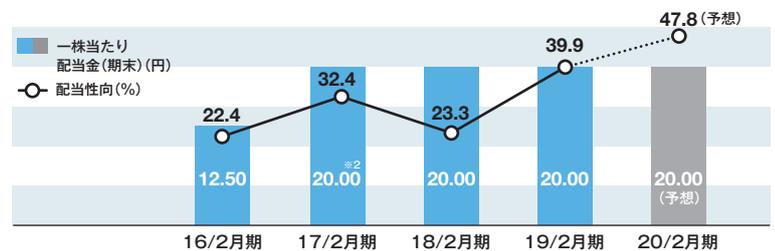
	持株数(千株)	持株比率(%)
(株)伏島揺光社	1,648	9.84
伏島靖豊	1,300	7.77
(株)三菱UFJ銀行	836	4.99
(株)三井住友銀行	744	4.44
(株)大川原製作所	673	4.02
UBS AG LONDON A/C IPB SEGREGATED CLIENT ACCOUNT	557	3.33
フロイント従業員持株会	416	2.48
(株)静岡銀行	368	2.20
明治安田生命保険相互会社	360	2.15
伏島巖	282	1.69

自己株式1,655千株(9.00%)を保有しております。
持ち株比率は自己株式1,655千株を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



配当金・配当性向の推移※1



※1: 2016年3月1日付で、当社普通株式を1株につき2株の割合をもって分割しましたが、2016年2月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※2: 2017年2月期は記念配当5.00円含む。

株主メモ

事業年度	3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月開催
株主確定日	定時株主総会・期末配当金 2月末日 (中間配当を実施するときの株主確定日は、8月31日)
株主名簿管理人 同事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
お問い合わせ先	〒183-0044 東京都府中市日鋼町一丁目1番地 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)

郵便物送付先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告方法	電子公告の方法により行います。 公告掲載URL (http://www.freund.co.jp) ただし、電子公告によることができない事故、 その他のやむを得ない事由が生じたときは、 日本経済新聞に掲載します。

フロイント産業株式会社

この株主通信に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

○コーポレート・コミュニケーション部 03(6890)0767 ○URL http://www.freund.co.jp

